

元高砂市議 緑の党グリーンズジャパン会員



[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9

Tel 079-444-2343 Fax 444-2418

E-mail:iokuioku3@gmail.com

http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも

ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

井奥まさきの市政ニュース

2013.12 (月刊+ : 12月号 通算 77号)

「井奥まさき」

で web 検索を

巻頭言

NO の危険、YES の罠ー特定秘密保護法の迷走政党を見て

天下の悪法「特定秘密保護法」が可決される

秘密の範囲が曖昧で、第三者機関すら明記されていない大欠陥法の「特定秘密保護法」が12月6日に成立しました。提案者の自民党・安倍政権はせっきくの経済政策の上げ潮を右派イデオロギーを重視したために支持率も大きく落としました。しかし、自民党並みに罪が重いのは「すりより野党」です。衆議院議員の「修正協議」で賛成にまわったみんな・維新はわずかな成果の餌で転ぶ、YESの罠に落ち込んだといえます。

対案を出さないNOの危険を自覚しつつ、YESの罠に注意

私は市政では登市長を徹底的に批判し、国政では弊害の多い自民政権を打倒したいと考えています。しかし、そうした今の状況への批判=NOを言う立場として、「対案なき批判」は慎んでいるつもりです。批判だけで実際に政権になったらボロボロ…というのはつい最近の国政だけでなく、地方自治体でも実例はゴロゴロしています。しかし、一方で「現実的修正」というYESの罠を対案作りの時には意識しないと今回のよう

元高砂市議 井奥まさき

な事態となります。

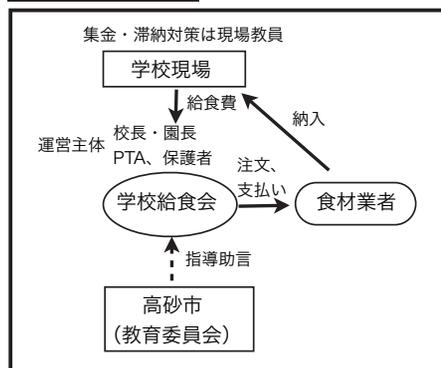
自民党から言えば、「可決するなら、第三者機関くらいまで譲っても十分」と思って出したら、簡単な修正で次々と野党がすり寄るのを心の中では喜んでいたに違いありません。

市民のパワーが自民党を苦しめた

そんな状態でも自民党を最後まで苦しめたのは議会外で抗議する市民の力でした。議員はどちらを向いて仕事をすべきかの典型例だったと思います。「なれあい与党」が過半数を握る高砂市議会にもあてはまるケースといえます。

学校給食会

学校給食会を改革し、中学校給食導入を現場の先生にも負担



ルで年間億単位の予算を持ちます。運営責任者は学校の校長とPTAなど保護者の代表です。市の行政(教育委員会)は補助に過ぎません。市議会にも公式に予算や決算の報告がなく、保護者が給食費を滞納したら取り立てるのはこの団体ということになります。

ら反対がある原因の一つが学校給食会のあり方です。すぐに市の会計に編入して市の行政の責任を明確化すべきです。

○先進施策 学校給食会予算の一般会計への移行

- ・福岡市や奈良市などで実施したように学校給食会の市の会計への移行を
- ・無理ならば、任意団体ではなく、西宮市のように財団法人など公的な団体にして責任体制を明確に
- ・会計実態などを市議会に報告義務を

学校給食会をご存知でしょうか。学校給食の食材仕入・給食費の徴収を一手に引き受け、高砂市レベ

そして、多くの責任と負担が現場の先生に押し付けられます。他市で中学校給食に対して、現場か

気候変動

気候の不安定化には質を高めるエネルギー削減策が必要

緑の党+井奥まさき

地球温暖化政策に批判を持つ人を見かけます。①気温が高くなっているかどうか不明②温暖化原因のCO2削減を理由に原発推進の動きあり③CO2を基準にする事が恣意的 というのが大きな理由のようです。緑の党は当然CO2換算の問題点や原発推進のトリッ

クは批判します。しかし一方で、世界ネットワークを活かして気候変動問題の解決に力を注ぎます。フィリピンの台風やここ数年の日本の天候を見ても気候の不安定化は明らかです。そして、過剰なエネルギー消費がその原因であることも確実です。私たちに必要な

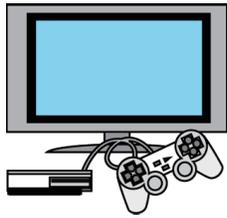
は、生活の質を維持・向上させながら少ないエネルギー消費を実現することです。カシコイ節電や環境税・取引枠の導入など環境経済のルールづくりによる誘導政策を実施すればそれは可能です。たった一つしかない地球を守るために大人たちの努力が必要です。

●気候変動政策について、緑の党の政策などを紹介します。

中学校給食導入には「直営ありき」だけでなく、多様な選択肢から考える必要がある。何より「どうしても導入する」という政治家の意思が必要

フィリピンから来日したフィリピン・緑のリオールサントスさんは「我々はたった一つの地球しか持っていない」と力説しました。

子育て日記



外でもゲーム？信じられない

私は子どもの頃は本を読むのが大好きでした。通学途中に歩きながら本を読んでいたくらいでした。実は体育会系とはほど遠いのですが、体格がよく見えるので「井奥さんは何かスポーツをされていました？」とよく聞かれます。「中高では将棋部です」と答えるとのおウケされます。

でも、そんな私でも小学校の時

テレビとゲームは悩みの種ですね

は仲間と竜山に自転車で遊びにいたり、近くの神社でいろんな遊びをしていました。中高時代も仲間と球技をしていました。

そうして見ると今の子どもたちの遊び方は変わったなと思います。外でもゲーム機やカードゲームで遊んでいる姿を見かけます。

親ごさんも頭が痛いだろうなと思います。子どもたちはまだゲームにはまっていませんが、子どもたちのいところに来て、朝からみんなでゲームばかりしているので怒ったこともあります。

テレビの時間をどうする？

我が家は幼稚園教諭の母親のせいか、食事中テレビは禁止、週〇時間までと決められていました。

しかし、子どもにはうるさかったのに、孫にはのびのびとテレビを見せさせているようです。

そのせいか、特に息子は休みの時なども延々とテレビを見ている時があります。そうした時に私が家にいると「外で遊んでこい」と追い出すことも。娘も夜になるとテレビにかじりついて寝ないので夫婦で怒って寝かせます。ゲームとテレビ。楽しさはわかるけど…頭が痛い問題ですね。

公共交通

成功例に学び、じょうとんバスもルートと時刻表見直しを



亡き父親が山陽電車でダイヤ運行を計画する、いわゆる「スジ屋」の仕事や運

転手・駅員などをしていたので公共交通に高い関心があります。

富山ライトレールを成功に導き、京都市内の交通対策も担当されている中川大さん（京都大学教授）のお話を聞きました。

中川さんは失敗する公共交通は①循環路線（一方循環は提供者側の論理、「来た道に戻る」が原則）②1日1～2便などの「無いよりまし」の発送③市民意見の丸のみ、政治的思惑・介入とあげられていました。まるで高砂市のじょうとんバスへの指摘のようです。高砂駅～宝殿駅を結ぶ1系統というドル箱路線を大事にせず、登市長は地元や議員の意見を

聞き過ぎたのか、複雑怪奇なルートを設定しました。そのため、覚えにくく乗りにくい路線になってしまっています。中川さんが強調する「パターンダイヤ（毎時〇分出発とか）」は成功のキモというべき重要な要素ですが、高砂市のバスはグジャグジャです。

現状を確認し、「成功した公共交通」に関わった方の知恵を借りて再編成すべきです。

多事総論 図書館の指定管理者導入をどう考える

高砂市の重要な争点についての議論をまとめました

□賛成 民間の工夫あり、開館日数増も 武雄市では図書館だけではなく併設の店でCDレンタルや本の購入などもできる。指定管理者で民間の知恵を借りるべき。他の施設でも進めている政策だ。また、高砂市図書館の休館日数は67日と他市より飛び抜けて多いと新聞報道もあった。民間委託すれば開館時間も含め、事態は改善される。

VS

□反対 図書館は無料が原則 工夫は無理 図書館には「無料の原則」がある。基本的に人件費削減しか工夫できず、活発になれば業務が増え経営的には矛盾する。また貸本屋ではなく、資料収集や適切な本の選択アドバイスが一番の仕事。そうした職員の質の確保が困難になりかねない。休館日数は老朽施設のせいで新図書館なら変わる。

みんなの声を集めました。

□井奥の一言 私は完全に「反対」なのでこのコーナーには不適當かも。民営化ならもっとやるべき施設や分野があります。文化の拠点施設を「人件費削減」を目的に指定管理者にしようとするのは情けない。高砂市にたった一つしかない図書館。大学のない高砂市にとって貴重な教育文化施設です。運営の工夫はしつつ、大切にしていきたいですね。